



夜にあらわれる光の横浜〈ヨルノヨ2024〉

2024年は、「星降るみなと」をテーマに、横浜の港から見える街の灯の輝きを星のきらめきや星座に見立てたコンセプトで開催。港の水際線や歴史的建造物、近代ビル群などが光と音楽にあわせて躍動するスペクタクルショーや、横浜港大さん橋国際客船ターミナルでの大規模なプロジェクションマッピング、山下公園で展開する光と音のインスタレーションなどを実施。ヨルノヨは横浜市が「日本新三大夜景」に2024年12月に選出された理由の一つとして評価されました。

2024. **12.5** - **12.30** 17:00-21:05 入場料無料

開催場所：横浜都心臨海部（横浜港大さん橋国際客船ターミナル、山下公園ほか）

【主催】クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会 【共催】横浜市 【連携】クリエイティブ・ライト・ヨコハマ推進協議会

ハイライト・オブ・ヨコハマ演出紹介

街全体が光と音楽で躍動するスペクタクルショー「ハイライト・オブ・ヨコハマ」は、今年度は過去最大の42施設に御参加いただきました。演出は、回数を1回増やして1日9回行い、毎時00分にはレインボーバージョン、毎時30分にはブルーバージョンの2種類を実施。

開催時間（各5分）：**17:00 / 17:30 / 18:00 / 18:30 / 19:00 / 19:30 / 20:00 / 20:30 / 21:00**

週末には25施設によるカラーライトアップを実施。

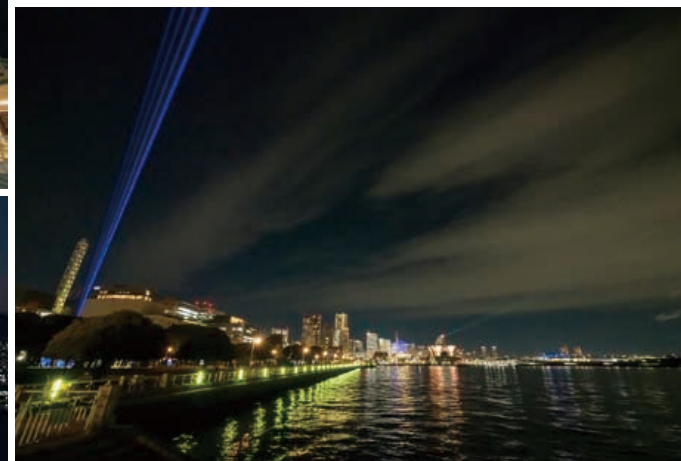
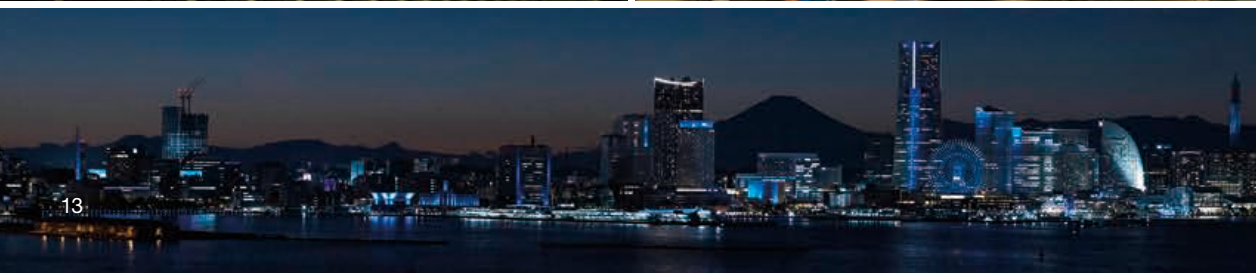
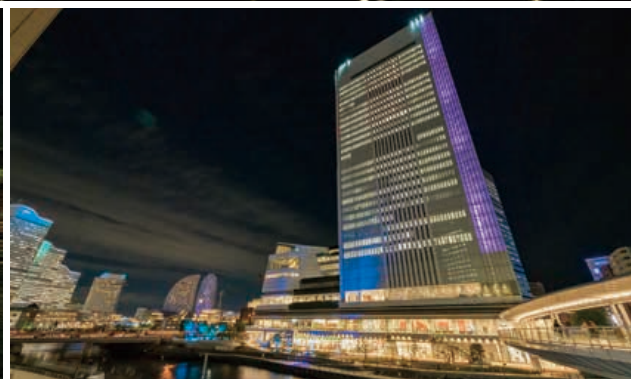
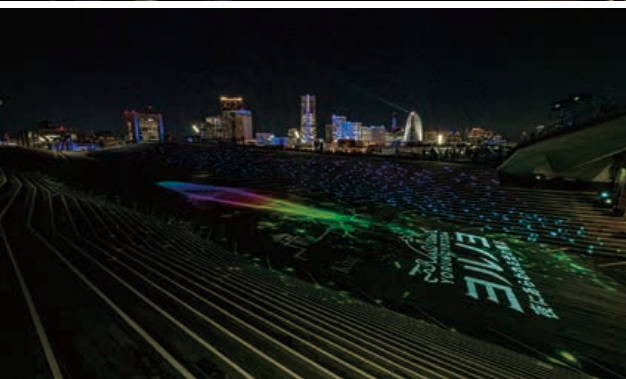
街全体の回遊促進・にぎわい創出に資する企業との連携に対する協賛メニューのひとつとした協賛企業カラー等照明演出や、公共的な情報発信の訴求効果を高めるため、多くの来街者が集まる機会を捉えた行政施策PRカラー照明演出を実施。

演出日数：〈ヨルノヨ2024〉の実施期間（26日間）のうち計8日間

開催時間（各5分）：**17:15 / 17:45 / 18:15 / 18:45 / 19:15 / 19:45 / 20:15 / 20:45**
5分間の点灯を1日あたり8回、計40分間

対象施設：ハイライト・オブ・ヨコハマを実施している42施設のうち25施設

毎時00分からのレインボーバージョンの演出



「コカ・コーラ クリスマスドローンショー2024」

12/7(土)に開催した国内トップクラスの規模となる1225機のドローンによる、ドローンショー。夜空に現れるサンタクロースと「コカ・コーラ」で乾杯できるなど、クリスマスの夜空を色鮮やかに彩りました。
※特別協賛社メニューとして特別なカラーライトアップとロゴを演出。

特別なカラーライトアップ：赤(コカ・コーラ クリスマスドローンショー コラボ)
12/7(土)、12/9(月)



「YOKOHAMA GO GREEN」(横浜市施策)

2050年の脱炭素社会の実現に向け、市と市民・事業者の皆様が一丸となって、脱炭素・環境施策を推進するための合言葉として、横浜市が策定しました。

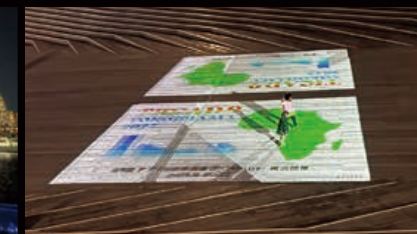
特別なカラーライトアップ：緑(YOKOHAMA GO GREENカラー)
12/21(土)、12/22(日)



「GREEN×EXPO 2027」

2027年3月19日(金)～2027年9月26日(日)に花や緑とのふれあいだけでなく、地球温暖化などの地球規模の問題に対して自然の力を生かした解決策を世界へ発信していく博覧会を開催します。

特別なカラーライトアップ：青(GREEN×EXPO 2027カラー)
12/14(土)、12/15(日)



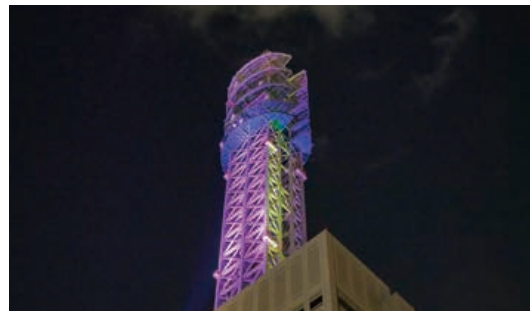
「第9回アフリカ開発会議(TICAD9)横浜開催」

2025年8月20日～8月22日にアフリカの開発をテーマとする国際会議「アフリカ開発会議(TICAD)」が開催されます。横浜開催はTICAD9で4回目となります。

特別なカラーライトアップ：赤・黄・緑(TICAD9)
12/28(土)、12/29(日)



ハイライト・オブ・ヨコハマ演出参加施設



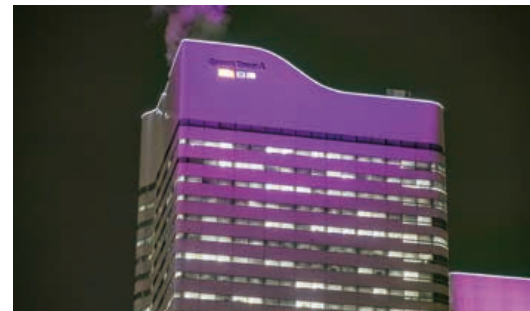
1 横浜メディアタワー
協力：株式会社NTTドコモ/株式会社NTTファシリティーズ



4 横浜美術館
協力：公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団



7 ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル
協力：パシフィコ横浜(株式会社横浜国際平和会議場)



10 クイーンズタワー-A
協力：日揮ホールディングス株式会社、三菱地所株式会社



13 女神橋



16 横浜ワールドポーターズ
協力：株式会社横浜インポートマート



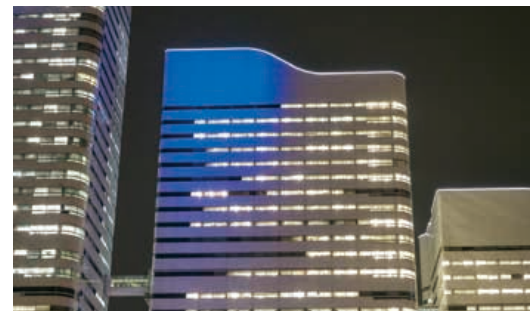
2 みなとみらいグランドセントラルタワー
協力：丸紅プライベートリート投資法人



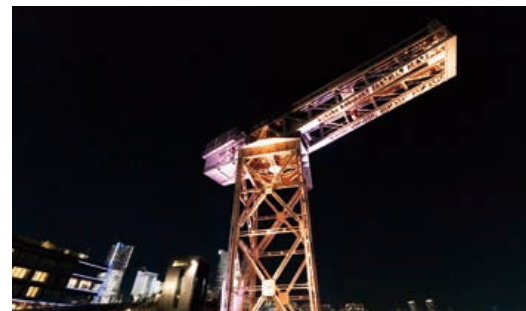
5 横浜みなとみらいホール
協力：公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団



8 横浜ランドマークプラザ
協力：三菱地所株式会社



11 クイーンズタワー-B



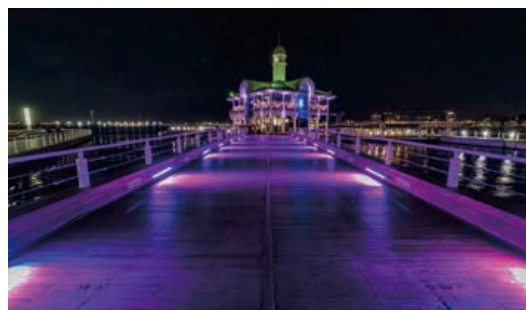
14 ハンマーヘッドクレーン



17 大観覧車コスモクロック21
協力：泉陽興業株式会社/よこはまコスモワールド



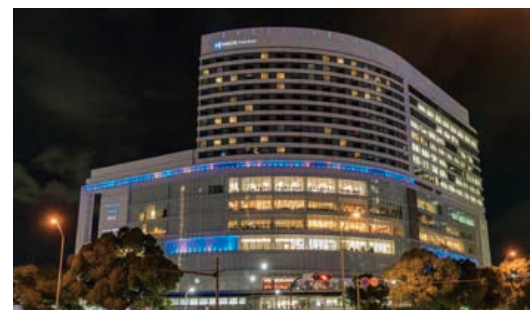
3 MARK IS みなとみらい
協力：三菱地所株式会社



6 ぶかりさん橋
協力：パシフィコ横浜(株式会社横浜国際平和会議場)



9 横浜ランドマークタワー
協力：三菱地所株式会社



12 コレットマーレ
協力：ヒューリック株式会社



15 横浜ハンマーヘッド
協力：横浜ハンマーヘッド(新港ふ頭客船ターミナル株式会社)



18 よこはまコスモワールド
協力：泉陽興業株式会社/よこはまコスモワールド



19 ナビオス横浜
協力：一般財団法人 日本船員厚生協会



22 アパホテル&リゾート〈横浜ベイタワー〉
特別協力(照明設置)：京浜電設株式会社
協力：アパホテル株式会社



25 神奈川県警察本部庁舎
特別協力(照明設置)：コイト電工株式会社
協力：神奈川県警察



28 神奈川県庁本庁舎
協力：神奈川県



31 大さん橋ふ頭ビル



34 山下公園(噴水)



20 新港中央広場



23 横浜市庁舎



26 横浜税関
特別協力(照明設置)：京浜電設株式会社
協力：横浜税関



29 山下臨港線プロムナード
特別協力(照明設置)：株式会社日動電設



32 横浜港大さん橋国際客船ターミナル
協力：一般社団法人横浜港振興協会



35 産業貿易センタービル
特別協力(照明設置)：株式会社日動電設
協力：株式会社産業貿易センター



21 赤レンガパーク(水際線)
特別協力(照明設置)：株式会社日動電設
協力：株式会社横浜赤レンガ



24 横浜市庁舎 水辺プラザ
特別協力(照明設置)：京浜電設株式会社
協力(音響・照明演出)：有限会社サウンドデザイン・ジャパン/日本大学芸術学部



27 横浜市開港記念会館
協力：相鉄企業株式会社



30 シタディーンハーバーフロント横浜
協力：シタディーンハーバーフロント横浜(NTT都市開発株式会社)



33 山下公園(水際線)
特別協力(照明設置)：株式会社日動電設



36 神奈川県民ホール
特別協力(照明設置)：京浜電設株式会社
協力：神奈川県民ホール(公益財団法人神奈川県芸術文化財団)

Star Tree(星の木)

来場者の動きに呼応する20台のStarTreeを中心とした、演出範囲250mを超える国内最大級のインタラクティブ・プロジェクションマッピング。プロジェクターやLED、レーザーといった多様な光が完全に連動する木のような宇宙船のような不思議なオブジェが、山下公園を夜の遊び場へと変えました。

開催時間：○17:00-21:05(時間中常時投影)

○17:00 / 17:30 / 18:00 / 18:30 / 19:00 / 19:30 / 20:00 / 20:30 / 21:00

から各5分は「ハイレイト・オブ・ヨコハマ」に合わせた演出

開催場所：山下公園

演出内容：○StarTree“FAT”(床面へのインタラクティブプロジェクションマッピング+LEDバーライト+レーザー)13台

○StarTree“SLIM”(カラーライトアップ)6台

○BigTree(床面およびツリー本体へのインタラクティブプロジェクションマッピング+レーザー)1台

○樹木のライトアップ

■ストーリー

山下公園で昭和10年に開かれた復興記念横浜大博覧会では、見世物として連れてこられた牝クジラがここで出産、さらに子クジラとともに海に逃げ出したという逸話がある。大さん橋から遊びにきた光るクジラは、100年前に逃げ出したこの親子クジラをモチーフにしました。

このクジラたちの吹き上げる潮は、青いレーザー光線となって夜空とつながります。



星のコンテナ

コンテナをモチーフにした光と音楽のオブジェ。ハイレイト・オブ・ヨコハマの時間にはスピーカーから音楽を奏でることで街なかでもハイレイト・オブ・ヨコハマを楽しむことが可能になりました。



エントランスゲート/インフォメーションブース

エントランスゲート

ヨルノヨの認知向上のため、ロゴをかたどったネオンサインを前年度に引き続き山下公園入口に設置。[Winter Wonder Park Yokohama 2024]とも連携し同スタイルのサインを設置してもらうことで、山下公園エリアを一体として盛り上げる試み。

インフォメーションブース

山下公園噴水前にコンテナを利用したインフォメーションブースを設置。来場者へのヨルノヨや関連イベントの案内、拾得物の管理、ヨルノヨのガイドブックの配布や、園芸博覧会や関連イベントのチラシの配布を行いました。



ノベルティ「ヒカルナニカ」

配布場所：新港中央広場

配布日：12月5日、6日、8日、13日、14日、20日、21日、27日、28日、29日
計10日間

配布数：各日500名、合計5,000名



脱炭素の取り組み

バイオディーゼル発電機×B100燃料

脱炭素パートナー：三和エナジー株式会社

大さん橋くじら座の電力すべて、および山下公園Star Treeの電力の一部をバイオディーゼル発電機からの再生可能エネルギーを使用。燃料はB100を用いることで、二酸化炭素排出量を実質ゼロに抑えました。イベント使用電力のうち、再生可能エネルギーの割合は75%。また通常電気についても、カーボン・オフセットを行いました(次項参照)。



カーボンオフセット

脱炭素パートナー：北海道下川町

イベントで用いた再生可能エネルギーでない既存電力(全体の約25%)については、横浜市と提携する北海道下川町のクレジットを利用しカーボン・オフセットを行いました。



ソーラーパネル(太陽光発電)&ポータブル蓄電池の活用

脱炭素パートナー：株式会社JVCケンウッド

日中の太陽光を利用しソーラーパネルで充電。星のコンテナ(新港中央広場)およびプロジェクターなどの試験点灯時調整用として電気使用を補助しました。

